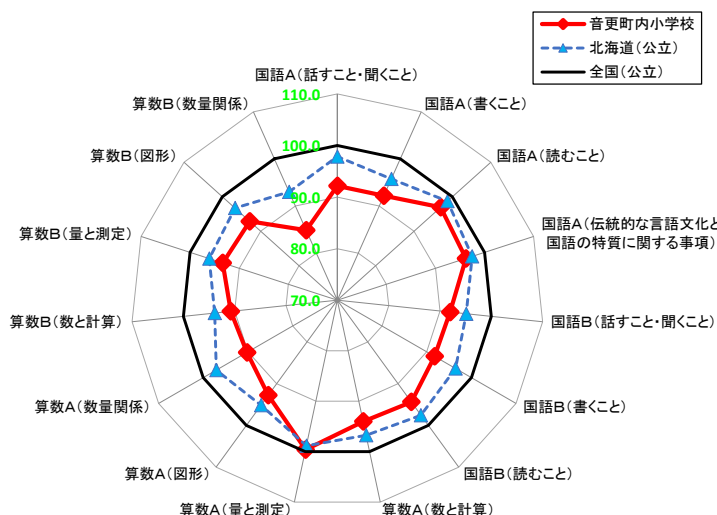


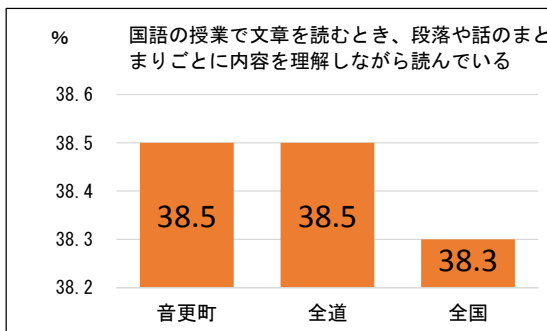
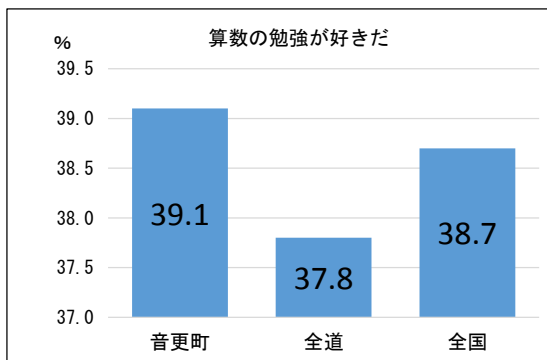
■音更町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:13、児童数:504名)

【教科全体の状況】

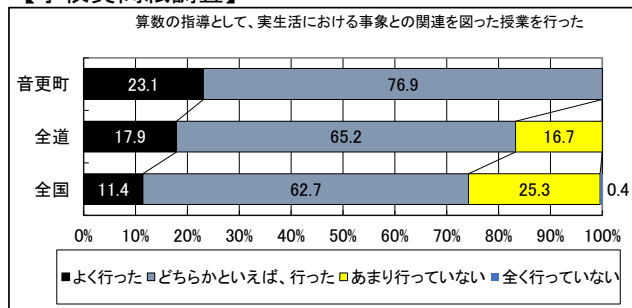
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



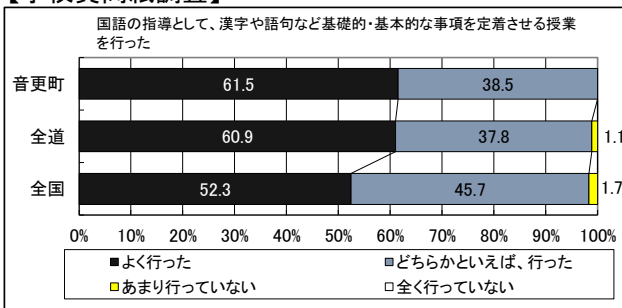
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、算数の指導として実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の勉強が好きだと回答した児童が増え、算数A「量と測定」で全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の勉強が好きだ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、学習課題の提示と終末を重視した授業を行った結果、国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいると回答した児童が増え、国語A「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道とほぼ同様になったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、漢字や語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

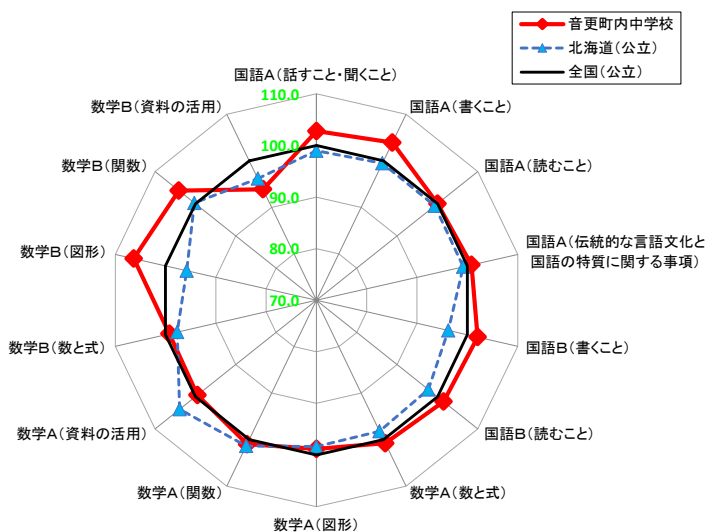
【音更町の学力向上策】

- ◎ 学習課題の提示と終末を重視した授業の確立
- ◎ 下位層の児童の学力向上に向けた学習支援員の配置
- ◎ 学習習慣の定着に向けた町全体の「家庭学習の手引」の活用

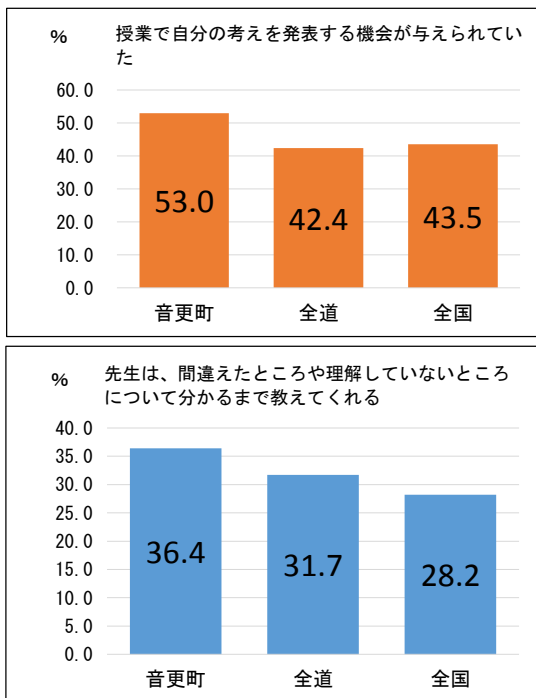
■音更町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5、生徒数:468名)

【教科全体の状況】

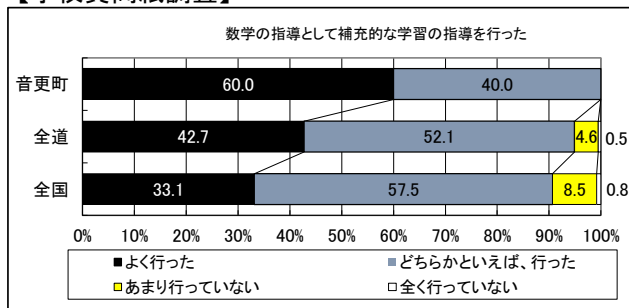
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



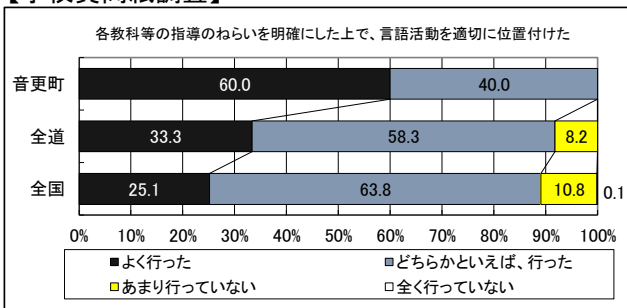
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」「関数」、Bでは、「図形」「関数」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、各教科等の指導のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置付けた授業を行った結果、国語A「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bのすべての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業において自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、数学の指導として補充的な学習の指導を行った結果、先生は間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれると回答した生徒が増え、数学A「数と式」「関数」、数学B「図形」「関数」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の指導として、補充的な学習を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【音更町の学力向上策】

- ◎ 学習課題の提示と終末を重視した授業の確立
- ◎ 下位層の生徒の学力向上に向けた学習支援員の配置
- ◎ 学習習慣の定着に向けた町全体の「家庭学習の手引」の活用